

令和2年度京都大学公共政策大学院

入学試験問題（一般選抜）

# 科目名：政治史

この表紙の次には、以下の出題分野の試験問題が1ページに各2問ずつ、計2ページで4問ある。

1. 政治史
2. 日本政治外交史

4問から2問を選んで解答すること。

1問につき、答案用紙1冊を用いて解答すること。

答案用紙ごとに、所定の欄に科目名、出題分野名、問題番号を記入すること。

科目名 政治史 出題分野名 政治史

**問題1** 19世紀末から20世紀初頭の英、仏、露3カ国の外交関係（2国間で締結された条約上の義務関係を含む）について具体的に説明し、「三国協商」として「ひとまとまり」の外交勢力として考えることの当否も含めて、ヨーロッパ外交への影響を論じなさい。

**問題2** 以下の問いから1問を選択し、解答しなさい。解答の冒頭に選択した番号を必ず明記すること。

(1) 1945年から1950年におけるドイツとオーストリアの政治体制について、冷戦の開始という観点から、具体的な史実をあげて論じなさい。

(2) 1848年のいわゆる「3月革命」において、大きな政治課題となった論点を少なくとも2つあげて説明し、それぞれの主張(変革)を推進しようとした勢力と、それに反対した勢力とを具体的に示しながら、当該問題の政治的背景を論じなさい。

科目名 政治史 出題分野名 日本政治外交史

**問題 1** 第一次世界大戦によって東アジアの国際秩序はどのように変化したか。パリ講和会議、ワシントン会議の経過や決定事項に触れつつ、歴史的事実に即して論じなさい。

**問題 2** サンフランシスコ講和会議において、領土問題はどのように処理されたか。その後に残された課題を含めて、歴史的事実に即して論じなさい。